

平成22年度事後評価総括表 (国庫補助)

区分	事業番号	事業名	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	最終事業費	着工完了	評価ランク(上段:部評価 下段:政策評価課評価)						部意見	政策評価課意見	部(課)の取組み方針		
								効果の発現	自然環境の変化	維持管理状況	住民の評価	改善措置の必要性	地域社会への貢献状況			今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等	部	課
災害防止	1	地すべり対策	小谷村	あわら 阿原	横孔ボーリング工 L=1,540m 承水路工 L=1,262m 床止工 2基	1億4990万円	H7	A	B	S	B	A	B	保全対象地域での被害は発生しておらず、防災効果が発揮されている。	地すべりの活動が沈静化し、一定の効果が認められる。	地すべり防止施設の軽微な維持管理は、地域住民との連携により実施し、施設の機能を保持するとともに、農地を含めた地域の保全を図ることとする。また、水抜きボーリング孔の洗浄や排水路の補修等は、今後も定期的実施する必要がある。	農政部	農地整備課
	H16	A	B	S	B	A	B											
	3	県営ため池等整備	茅野市	みしろ 御射鹿池	堤体工 L=127m 取水施設工1式 洪水吐工1式 波除護岸工 L=122m	8340万円	H13	A	A	A	A	A	A	ため池堤体からの漏水が無くなり、所期の目的が達成された。また施設は土地改良区によって適切に管理されており、事業効果が十分に発揮されている。	農業用水の安定供給と災害の未然防止が図られ、事業の目的を達成している。	農業用水の安定確保は基より、災害を未然に防止する目的から、地域住民の評価は非常に高い。引き続き、農業面での安心安全に加え、農業用水以外の多面的機能や自然環境などに配慮した計画策定により、地域住民に親しまれる施設となるような事業推進を図っていきたい。	農政部	農地整備課
	H16	A	A	A	A	A	A											
	4	山地治山	松本市	むら 六郎沢	谷止工1個 山腹工1.20ha 土留工8個 水路工100m 筋工437㎡ 伏工3456㎡ 吹付工2,567㎡他 森林整備23.4ha	2億3585万1千円	H9	A	A	A	A	A	-	崩壊地の復旧、森林整備等を実施したことにより、地域の安全・安心の確保ができた。	山崩壊地が安定し、一定の効果が認められる。	今後、計画にあたっては、より一層防災機能の向上が図られるよう、施設整備と森林整備の一体的な実施計画に留意し、地域ぐるみで森林整備が進められるよう、計画の進め方、説明方法について工夫する必要がある。	林務部	森林づくり推進課
	H16	A	A	A	A	A	-											
6	地すべり防止	小谷村	よしかわ 横川	床固工1個 護岸工234m 山腹工10.30ha 水路工89m 暗渠工980m ボーリング暗渠工900m 集水井工6個 集水ボーリング工8,705m	7億9194万6千円	H12	A	B	A	A	A	-	事業実施後、豪雨時や融雪期にも新たな変状はなく、地域の安全が確保されている。	地すべり活動が沈静化し、一定の効果が認められる。	今後、状況に応じて地すべりの挙動を監視するとともに、必要に応じてボーリング暗渠工の洗浄等、適切な維持管理を行い、地すべり防止工事の効果を持続させていく必要がある。	林務部	森林づくり推進課	
H16	A	B	A	A	A	-												
8	砂防	白馬村	ひなた 日向沢 ゆきだ 幸田上	砂防堰堤 H=11.5m(既設高上げH=3.5m) 砂防堰堤(コンクリートブロック堰堤) H=14.1m、L=54.5m	5億4600万円	H8	A	A	A	A	A	-	「税金の使途として適切」及び「地域を守る重要な事業」と評価を受けている。保全対象は国道406号などがあり、重要交通路の安全確保に貢献している。	土石流に対する安全性の向上が図られ、一定の効果が認められる。	今後も堆砂状況等に応じ、適切な維持管理や対策等を行って、土砂災害の未然防止を図る必要がある。希少種等の生態に影響が生じる恐れのある地域においては、環境調査を行い、必要に応じ専門家の意見等も仰ぎながら計画及び工事を進める必要がある。	建設部	砂防課	
H16	A	A	A	A	A	-												
災害防止	11	特定緊急地すべり対策	飯田市	すずね 須沢	排水路工 L=534m 横ボーリング工 L=1170m アンカー工 550本 鉛直縫地工 90本	22億2100万円	H2	A	B	A	A	A	-	当該事業の実施により、地すべり活動が沈静化した。地域住民の意見からも、当該事業の実施に対する評価はとて高く、事業効果は十分発現されている。	地すべり活動が沈静化し、一定の効果が認められる。	今後、地すべり防止施設の維持管理を地元住民とともに実施していく体制、環境づくりが必要である。	建設部	砂防課
H16	A	B	A	A	A	-												

平成22年度事後評価総括表 (国庫補助)

区分	事業番号	事業名	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	最終事業費	着工完了	評価ランク(上段:部評価 下段:政策評価課評価)						部意見	政策評価課意見	部(課)の取組み方針		
								効果の発現	自然環境の変化	維持管理状況	住民の評価	改善措置の必要性	地域社会への貢献状況			今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等	部	課
災害防止	14	急傾斜地崩壊対策	高山村	おぎくぼ 菰久保	擁壁工 L=577m H=2.5~7.6m	2億8800万6千円	H11	A	B	A	A	A	-	人家を保全するための対策工事として地域住民に理解されており、アンケート結果からも必要性等の事業効果は高い。	事業完了後は斜面の状況はなく、一定の効果が認められる。	当箇所は地域住民が事業の必要性や重要性を認識し高い評価を得ているが、維持管理や対応に関する意見要望もある。事業着手時に工事完成後の維持管理など住民に説明を行い、地域と連携して事業を進めていくことで満足度の高い公共事業としていく必要がある。	建設部	砂防課
							H16	A	B	A	A	A	-					
森林	34	水源地域等保安林整備	阿南町	かみかみ 門原	谷止工19個 床固工7個 護岸工137m 山腹工0.90ha 森林整備113ha	8億7257万1千円	H12	A	S	A	A	A	-	荒廃渓流の安定を図るとともに、崩壊地の復旧や森林整備を実施したことにより、水源林の機能の向上と下流地域の安全・安心の確保ができた。	荒廃地の復旧や森林整備により、水土保全機能の向上が図られ、事業の目的を達成している。	木製構造物については、腐朽などの問題があるため、今後も定期的に監視し、状況に応じて補修等の適切な対応を検討していく必要がある。今後の事業の実施に際しては、地域住民との情報共有について十分配慮する必要がある。	林務部	森林づくり推進課
							H16	A	S	A	A	A	-					
	35	防災林整備	飯山市	くろい 黒岩	なだれ減勢工1個	2億4973万2千円	H13	A	B	A	A	A	-	事業実施により、なだれ被害の発生はなく、地域の安全・安心が図られている。	なだれ被害が防止され、一定の効果が認められる。	今後の維持管理、特に異変が生じたときの情報収集・伝達手段について、地域との協働を図れるよう、連携を密にしていける必要がある。		
							H16	A	B	A	A	A	-					
37	県営林道開設	佐久市	あがのやま 東山	林道開設 L=19,590m W=4.0m	17億3752万2千円	S57	A	B	A	B	A	-	事業の実施により森林整備が促進され、森林の公益的機能の増進が図られ、事業の目的を達成している。	森林整備が促進され、事業の目的を達成している。	林道を核とし、作業道等も併せた森林路網のネットワーク化を図り、森林の持つ公益的機能が持続的に発揮できるよう、間伐等の森林整備を促進すると共に、間伐材の有効利用を図り地域の活性化を図る。事業が長期に渡るため、社会経済情勢の変化、地域のニーズ変化等に対応した見直しを行い、地域住民の合意を得ながら事業の推進を図る。	信州の木振興課		
						H16	A	B	A	B	A	-						
交通	38	道路改築	千曲市	(主)大町麻績イン ター千曲線 坂上	道路築造工 L=3,700m W=6.0(8.0)m	61億4700万円	H11	A	B	A	A	A	-	急カーブ、急勾配、狭隘箇所が多い交通の難所が改善され、円滑な交通と安全性が確保された。事業目的を達成しており、事業効果はあると判断される。	交通の円滑化と安全性が確保され、事業の目的を達成している。	安全で安心な交通を確保出来るよう、適切な維持管理に努める。今後の計画策定においても、円滑な交通を確保しつつ、経済的かつ自然環境への影響が少ないルート及び工法を検討したい。	建設部	道路建設課
							H16	A	B	A	A	A	-					
	43	街路	東御市	たなか ぼくや せん 田中牧家線 田中	道路築造工 L=772m W=6.0(18.0)m	41億5700万円	H9	A	A	S	B	B	A	当街路事業を通して、まちづくり検討委員会により景観や設計検討を実施しており、地域主体による事業展開となっていることは、成功した事例といえる。	歩行者の安全確保と交通の円滑化に加えて住民参加によるまちづくりが行われ、事業目的を達成している。	無電柱化計画については、電線管理者の承諾が必要であり、今回は電柱・電線類を街路裏へ回す方式をとったが、街路裏のエリアについても景観は保安的な問題があるため、街路事業においては電線類の地中化が可能となるよう、電線管理者も協働できるような仕組みづくりが必要である。	建設部	都市計画課
							H18	A	A	S	B	B	A					
44	交通安全施設等整備	中野市	(一)壁田松崎線 竹原上	歩道設置工 L=600m W=2.5m	1億7235万円	H16	A	A	A	A	A	-	通学路の安全が確保され、地域の評価も高く、事業効果は高いと判断される。	歩行者の安全及び円滑な交通が確保され、事業の目的を達成している。	アンケート結果から、当事業の必要性、税金投入の妥当性、重要性等非常に評価が高いことがうかがえる。事業化にあたっては、地域の参画、役割分担、意向や優先順位等を勘案しながら、効果的な整備を検討していく必要がある。	建設部	道路管理課	
						H18	A	A	A	A	A	-						

平成22年度事後評価総括表 (国庫補助)

区分	事業番号	事業名	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	最終事業費	着工 完了	評価ランク(上段:部評価 下段:政策評価課評価)						部意見	政策評価課意見	部(課)の取組み方針		
								効果の 発現	自然環境 の 変化	維持管理 状況	住 民 の 評 価	改善措置 の 必 要 性	地域社会 への 貢 献 状 況			今後の取組及び同種事業の計画・調査の あり方や評価手法の見直し等	部	課
食料	49	県営かんがい排水	松本市	里山辺	排水路工 L=762m B=1.0~1.4m H=0.8~1.4m	2億3360万円	H12	A	A	S	B	A	-	下流域で水路から雨水等が溢れる被害を防止するとともに、上流域における水量調整の容易化等が図られ、事業の効果を発揮している。	排水被害の防止が図られている。	アンケート調査等から、下流の方と上流の方で、本事業に対する意識等に違いが見られた。混住化や高齢化が進んだ農村地域における事業に当たっては、実施前の段階から、工事の進め方や実施後の維持管理等も含め十分な説明等を実施することが特に重要であり、より一層効果的・効率的な事業の執行に資することに繋がる。	農政部	農地整備課
							H16	A	A	S	B	A	-					
	50	畑地帯総合整備	南牧村	野辺山	農道L=33,226m 排水路L=21,791m	56億9400万円	S61	A	B	A	A	A	B	地域の主要産業である農業を支える基盤整備は、今後とも高原野菜の生産団地として安定的な発展を図るうえで欠かせない事業である。	農産物の生産性の向上が図られ、目的を達成している。	・畑作地域の農業振興を図るうえで重要な役割を果たしていると共に、生活環境の向上を図るうえで一定の評価を得ている。 ・近年の温暖化の進行による局地的豪雨に対応する更なる排水路の整備が望まれている。 ・計画に際しては、事業効果の発現が早期に図れるよう適正な事業規模を設定することが重要である。		
							H16	A	B	A	A	A	B					
	52	経営体育成基盤整備	南箕輪村	大泉川南	整地工A=38.8ha 用水路工L=5.4km 排水路工L=4.1km 農道工 幹線L=0.2km 支線L=6.5km 農村公園A=0.3ha	7億3000万円	H11	S	B	A	B	A	B	事業実施後の作付けや農地の利用集積が順調に進み、ほ場内の農道や水路等の整備により、農作業の省力化などの効果が発現しており、地域の生産基盤及び生活環境の向上に寄与している。	農業基盤の再整備により、農地の利用集積や農作業の省力化が図られ、事業の目的を達成している。	農業用施設は、農業生産に利用するのみならず地域の重要な生活基盤施設として活用されている。アンケートにおいても砂利道の舗装等、事業完了後の利便性向上に関する要望があったため、事業計画段階から地域住民を交え維持管理を含めた計画を立て推進していく。		
							H16	S	B	A	B	A	B					
53	一般農道整備	飯綱町	五輪山	道路工 L=2,402m 幹線W=4.0(5.0)m 支線W=2.0(3.0)m	2億2360万円	H10	A	B	A	B	A	-	農作業及び農産物輸送の効率化により、農業経営の安定化が図られている。	農作業及び農産物輸送の効率化により、農業経営の安定化が図られ、事業目的を達成している。	農道の路面排水や安全対策等についての意見もあつたが、地域の農業経営の安定と生活環境の向上が図られるよう、引続き計画段階から、地域住民の意見や要望を聞き、これを反映させながら進める。			
						H16	A	B	A	B	A	-						
54	中山間総合整備	飯田市天龍村	天龍南信濃	農業用排水 L=4,752m 農道 L=3,081m 農業集落道 L=2,019m 防災安全施設 8箇所 活性化施設1箇所 農村公園 A=1,678m <sup>2</sup>	14億5800万円	H10	A	A	A	A	A	B	農業生産基盤の整備により、生産性の向上と農作業の省力化が図られた。また、定住環境の向上や、地域活性化にも貢献しており、事業の目的を達成している。	農業生産性と定住環境の向上が図られ、事業の目的を達成している。	事業に対する評価が高い反面で、アンケート実施時には、事業を実施していない箇所での事業実施要望や、他事業(鳥獣害防止等)の実施要望があつたため、計画段階で地域の要望を的確に把握し、他事業との連携を含めた事業計画に反映させる必要がある。			
						H16	A	A	A	A	A	B						
生活	59	県代行	小谷村	村道 川尻線 川尻	道路築造工 L=260m(内橋梁 118m) W=5.5(7.0)m	8億2960万円	H13	A	B	A	A	A	-	橋梁を含む狭隘部解消により、利便性・安全性の向上が図られた。アンケート結果による地域の評価も高く、事業効果は高い。	安全かつ円滑な交通が確保され、事業の目的を達成している。	地域住民及び道路利用者の意見・要望等を計画段階の早期に確認し、利便性・安全性の向上が一層図られるよう、引き続き狭隘部の解消等に努めていく。	建設部	道路管理課
						H18	A	B	A	A	A	-						

平成22年度事後評価総括表 (県単独)

区分	事業番号	事業名	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	最終事業費	着工 完了	評価ランク(上段:部評価 下段:政策評価課評価)						部意見	政策評価課意見	部(課)の取組み方針		
								効果 の 発 現	自然環境 の 変 化	維持管理 状 況	住 民 の 評 価	改善措置 の 必 要 性	地域社会 へ の 貢 献 状 況			今後の取組及び同種事業の計画・調査の あり方や評価手法の見直し等	部	課
交通	86	県単道路改築	茅野市	(国)152号 安国寺	道路築造工 L=350m W=6.5(12.0)m	5億1696万7 千円	H13	A	A	S	A	A	A	幅員狭小部の解消により、円滑な交通の確保が図られ、歩道の設置により歩行者の安全性が確保された。また、地域行事である御柱の曳航に際しても安全性が増進している。	円滑な交通及び歩行者の安全が確保され、事業の目的を達成している。	通過車両の増加、大型化、高速化による騒音振動に対する意見も多い。計画・調査の段階で予測される事業完了後の環境変化への対策についても重視する必要がある。今後も路面状況をみて適切な維持管理を図っていきたい。	建設部	道路建設課
							H18	A	A	S	A	A	A					
	87	県単街路	小諸市	相生町線 相生町	道路改築 L=360m W=6.0(16.0)m	5億9800万 円	H7	A	A	A	A	A	-	当該区間は、歩道幅員が狭く、歩行者の安全確保が不十分であったが、事業の実施により歩行者の安全が確保できるようになった。沿線住民アンケート結果からも事業効果は高いと評価される。	歩行者の安全確保と交通の円滑化が図られ、事業の目的を達成している。	当該区間は、地元住民から事業に対する理解が得られ、実施後の地元住民の評価が高い結果となったが、街路事業は、住宅地での施工となるため、沿線住民の生活が極力支障とならないように十分に配慮した計画・施工が必要である。	都市計画課	
							H18	A	A	A	A	A	-					